

読売新聞の購読申し込みは

フリーダイヤル よみうり よみうり ハイどうぞ

**0120-4343-81**

 または <https://434381.yomiuri.co.jp/>


# 吉沢

# 金

# 赤間

# 銀

## スケボー女子 ストリート

【パリ―読売取材団】パリ五輪は第3日の28日、スケートボード女子ストリートで吉沢恋(14) (ACT S B S T O R E) が272・75点を

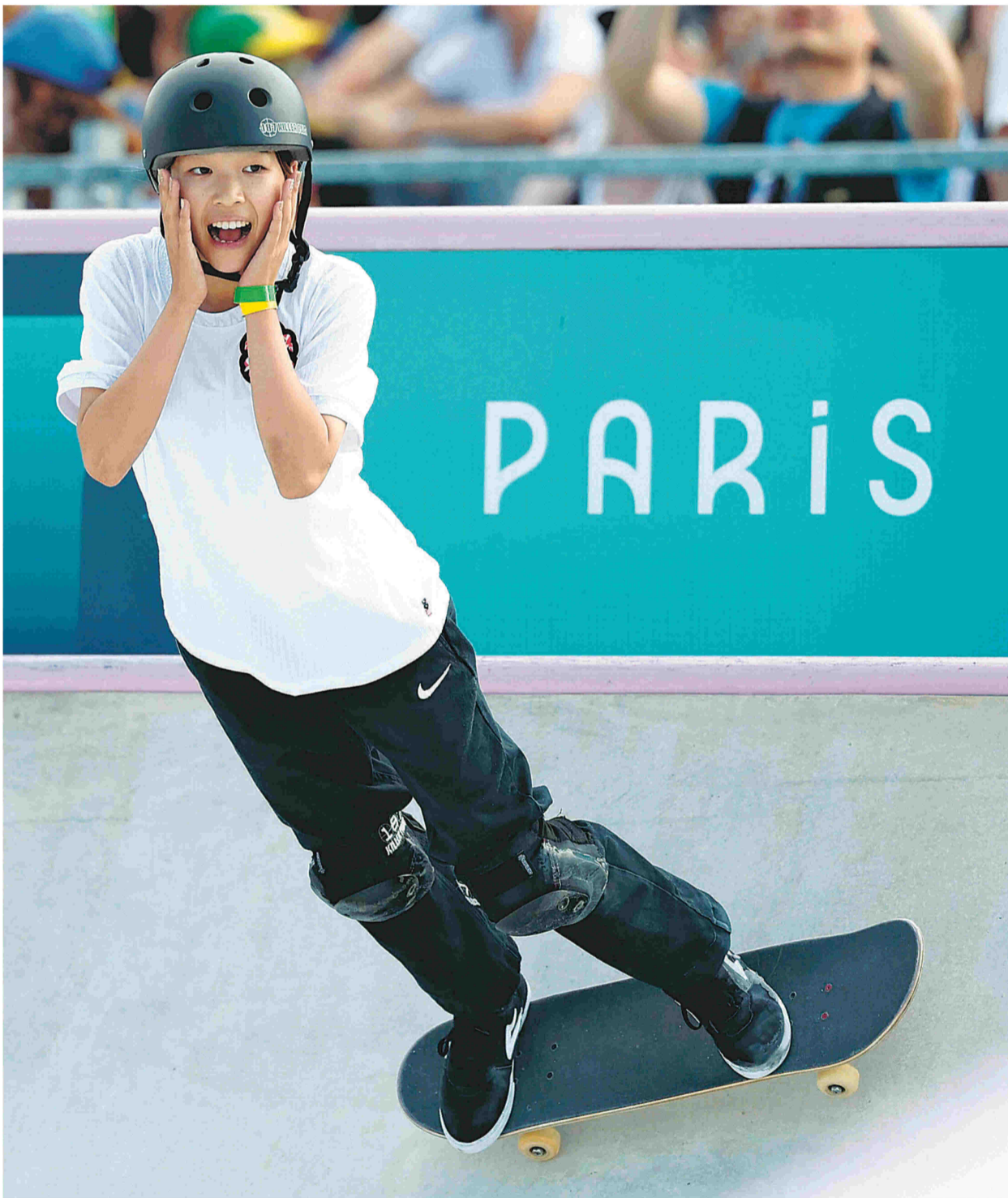
マークし、金メダルを獲得した。赤間凛音(15)も銀メダルで、日本勢が1、2位を占めた。この種目では、スケートボ

ードが初めて採用された東京大会を制した西矢椋(16) (サントリー) に続き、日本勢が2大会連続で優勝。全競技を通じて、今大会で日本勢の金メダ

ルは3個目。ストリートは、街中の階段や手すりなどをイメージした構造物を設置したコースを使って板を回転させ、ジャンプなど技の難易度や獨創性などを競う。

吉沢は予選を1位で通過し、8人による決勝は、後半の「ベストトリック」4本目で96・49の高得点をマークして、トップに立った。

吉沢は神奈川県出身。2022年に国際大会デビューし、23年12月の世界選手権で5位。今年6月のパリ五輪予選シリーズ第2戦で世界大会初優勝を飾っていた。



スケートボード女子ストリート決勝で技を決めて笑顔を見せる吉沢恋(28日、パリで) ―三浦邦彦撮影



スケートボード女子ストリートで金メダルの吉沢恋(左)と銀メダルの赤間凛音(28日、パリで) ―三浦邦彦撮影